

献呈の辞

2017年3月末をもって任期満了により退職された先生方は、例年になく多く四人いらっしゃいました。加藤良夫先生、菊池理夫先生、高橋広次先生、そして、松浦以津子先生です。(五十音順)

加藤良夫先生は、1948年6月にお生まれになりました。中央大学法学部法律学科を卒業され、その後、司法試験に合格され、当時の司法修習は2年間でしたから、2年間最高裁判所司法研修所で司法修習をされた後、現在の愛知県弁護士会(当時名古屋弁護士会)に弁護士登録をされ、今現在でも弁護士としてご活躍です。弁護士になられた後も、名古屋大学医学部など様々な大学で、ご専門の医事法の非常勤講師をお勤めになりました。南山大学には、法科大学院法務研究科が設置される1年前の2003年4月に法学部教授として着任されました。2004年4月に法科大学院が開設されると法務研究科教授として移籍され、2017年3月までの14年間にわたって、弁護士と教授との二足の草鞋を見事に履きこなされました。これまで法科大学院の学生の教育に尽力され、その薫陶を受けて法曹となった卒業生は大変な数に上ります。

この3月末に任期満了でご退職になられた次の先生は、菊池理夫(まさお)先生です。菊池先生は慶應義塾大学法学部政治学科を卒業され、その後、同大学大学院法学研究科で政治学を専攻され、修士(法学)そして博士(法学)を取得されました。その後、東京歯科大学や中央学院大学などで非常勤講師を勤められ、1982年4月に当時の松阪大学政治経済学部にも助教授として赴任されました。その後、同大学の大学院政策科学研究科の修士課程および博

士課程の教授を勤められた後、2010年4月に南山大学法学部教授として着任されました。その時から7年間にわたって、コミュニタリアニズムの研究者として、法律学科科目の政治思想史や政治史ばかりでなく、共通教育科目も数多く担当され、大変多くの学生のために教鞭を執られました。また、菊池先生は、アメリカのハーバード大学教授で、コミュニタリアニズムの論者として著名なマイケル・サンデル教授の研究者としても、全国的に活躍されました。

ご退職になられた三人めの先生は、高橋広次(ひろし)先生です。高橋先生は九州大学法学部法律学科卒業後、法哲学の研究をするべく1971年4月に同大学大学院法学研究科修士課程に進学されました。同大学修士課程を修了された後、同大学法学部助手としての研究職を1年間挟んで、1974年4月に同研究科博士課程に進学されました。その後、1977年11月に法学博士の学位を九州大学から授与されました。1977年4月から再び同大学法学部の助手を勤められた後、南山大学法学部講師として1978年4月に着任されました。1981年4月には助教授(現在の准教授)に昇格され、1985年4月からの1年半は、当時の西ドイツ、フライブルク大学法学部に留学され、研究にあたられました。その後、1992年4月に教授に昇格されました。講師として南山大学に着任されてから39年間にわたり、南山大学法学部において、教育および研究に尽力されました。

最後になりましたが、このたびご退職になられた松浦以津子先生は、名古屋大学法学部を卒業後、同大学大学院法学研究科修士課程に進学し修士号を取得され、その後同大学大学院法学研究科博士課程まで民法の研究にあたられました。またその間、1974～1975年の約1年間は、アラバマ大学ロースクールで比較法を研究され、同大学において修士号を取得されました。その後1976年4月から3年間、名古屋大学法学部助手を勤められた後、愛知大学法経学部にも助教授として就任され、1989年10月には同大学法学部教授に

昇格されました。その後は、ウィスコンシン大学ロースクール客員教授やスタンフォード大学ロースクール客員研究員を歴任され、南山大学法科大学院開設の1年前である2003年4月に、南山大学法学部教授として着任されました。2004年4月に南山大学法科大学院が開設されると、法科大学院教授として移籍されました。その後、14年間にわたって南山大学法科大学院および法学部の教授として教鞭を執られ、教育および研究に貢献されました。

それぞれの先生方の研究業績については、巻末に掲げられているように多数にわたりますので、ここでは言及することを割愛いたしますが、先生方がそれぞれのご研究の分野において、数々の輝かしい業績を上げられましたことを、同僚である私どもは、大変光栄に存じますと同時に、研究者として先生方のご研究および教育に対する意欲と熱意に大変触発されるところです。

加藤先生、菊池先生、高橋先生、そして、松浦先生に、『南山法学』本号を献呈させていただくにあたり、長年にわたり先生方が南山大学、特に南山大学法学部および法務研究科、そして、その学生と同僚に対して献身的に捧げられました情熱と愛情に心より感謝致しますとともに、先生方の今後ますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

2017年4月10日

南山大学法学会会長 澤 登 文 治